

(様式6)

令和6年度 「総合的な探究の時間」 指導計画書

学校 番号	27	学校名	坂城 高等学校		名称	坂城学 I				
		課程	全日	制		(課題研究		単位の内 単位)		
学年	1	学 科	普通	科	生徒数	58	人	時間数	35	時間
目 標 (育成する資質・能力)	<p>【大目標】 自らライフキャリアをデザインし地域社会に主体的に関わり貢献できる人材の育成を目指す。</p> <p>【教科目標】 (1) 知らない言葉や事柄に対して、意味を調べ、理解することができる。また、授業で学習したことを理解し、探究の活動において、その知識・技能を活用することができる。【知識・技能】 (2) 自分の将来を想像し、それに向けて必要な行動を定め、実行できる。解決すべき課題を発見し、解決に向けて困難を乗り越えることができる。ICTを活用し、自分の意見を他者に伝わるように表現することができる。【思考力・判断力・表現力】 (3) 自己理解に基づいて、自らの行動を律することができる。その上で、自分と他者との違いを理解し、グループ活動において中心となる役割を担うことができる。【主体性・協働性・多様性】</p>									
内 容 (探究する課題について明確にすること)	<p>(1) 地域の方々や年齢の異なる人たちとの関わりや、SST演習を通して自己理解と他者理解を行う。 (2) SSTや自己理解に基づき、集団の中でどのように活動すべきかを考えて行動し、丁寧な振り返りを行うことで集団活動における協働性・主体性の向上をはかる。 (3) 坂城町の企業学習会において、学習会前の情報収集を行い、学習会後の情報整理を小集団により発表する。また、学習会等から学んだことに対して浮かんだ興味関心や疑問をさらに調べていく。</p>									
学期	時間	月	日	曜日	時 限 時間帯	内 容		指導方法		備 考 (教材、場所等)
						単元	各回の学習内容			
1	1	4	11	木	5	STEP1 自己理解	坂城学オリエンテーション・ルーブリック		講義・ワークショップ	教室
	2				6		SST演習:協同する		講義・ワークショップ	体育館・教室
	3	4	25	木	5		体験学習について		講義	教室
	4	5	9	木	5	STEP2 体験学習	フィールドワーク「地域を知る」(バラ園)		校外研修	坂城町内(バラ園)
	5				6		フィールドワーク「地域を知る」(バラ園)		校外研修	坂城町内(バラ園)
	6	5	17	金	1		フィールドワーク「地域を知る」(保育園)		校外研修	坂城町内(保育園)
	7	5	23	木	5		フィールドワーク振り返り・スライド作成		個人追究	教室・テキスト使用
	8				6		フィールドワーク振り返り・スライド作成		個人追究	教室・テキスト使用
	9	6	6	木	5		フィールドワークの準備		講義・グループワーク	教室
	10				6		フィールドワークの準備		グループワーク	教室
	11	6	21	金	1		フィールドワーク「地域を知る」(葛尾山)		校外研修	坂城町内(葛尾山)
	12	7	4	木	3		フィールドワーク振り返り・スライド作成		個人追究	教室
	13				4	フィールドワーク振り返り・スライド作成		個人追究	教室	
	14	7	18	木	5	フィールドワーク振り返り・スライド作成		個人追究	教室	
	15				6	体験学習発表会		体験発表会(学年)参観	教室	
2	16	8	29	木	5	STEP3 調査探究	地域の企業について知る		講義・ワークショップ	教室等
	17				6		地域の企業について知る		講義・ワークショップ	教室等
	18	9	12	木	3		グループに分かれて企業調べ		講義・グループワーク	教室・テキスト使用
	19				4		グループに分かれて企業調べ		講義・グループワーク	教室・テキスト使用
	20	10	3	木	5		企業への質問を考える		グループワーク	教室
	21				6		企業への質問を考える		グループワーク	教室
	22	10	17	木	5	インタビュー練習		グループワーク	教室	
	23				6	企業学習会最終準備		グループワーク	教室	
	24	10	25	金	1	坂城町企業学習会		グループワーク	教室	
	25	10	31	木	5	STEP4 まとめ・発表	プレゼンテーション準備		グループワーク	教室・テキスト使用
	26				6		プレゼンテーション準備		グループワーク	教室・テキスト使用
	27	11	14	木	5		プレゼンテーション準備		グループワーク	体育館
28				6	プレゼンテーション準備		グループワーク	体育館		
29	12	5	木	5	プレゼンテーション		坂城学発表会(学年)参観	教室・テキスト使用		
30				6	プレゼンテーション		坂城学発表会(学年)参観	教室・テキスト使用		
31	12	19	木	5	プレゼンテーション振り返り		講義・グループワーク	教室・テキスト使用		
32				6	プレゼンテーション振り返り		講義・グループワーク	教室・テキスト使用		
3	33	1	9	木	5	STEP5 振り返り	個人成果物作成		個人追究	教室・テキスト使用
	34				6		個人成果物作成		個人追究	教室・テキスト使用
	35	1	30	木	5		個人成果物作成・発表準備		個人追究	教室・テキスト使用
	36				6		個人成果物作成・発表準備		個人追究	教室・テキスト使用
	37	1	31	金	1	坂城学発表会(参観・発表)		坂城学発表会(全校)参観	発表会場未定	
	38	2	6	木	5	STEP6 年間振り返り	探究を振り返る:Inspire High		個人追究	教室・テキスト使用
39				6	探究を振り返る:フィードバック・ルーブリック		講義	教室・テキスト使用		
評価の観点・方法	<p><評価の観点> ○レディネス(学習姿勢):A生活態度(自律性・公共性)、B基礎学力(知識・技能) ○コミュニケーション:C自分を理解し認める力、D他者を理解し関わる力 ○コラボレーション:Eグループで協力する力、F表現・発信する力 ○キャリア:G知識を広げようとする力(学びに向かう力)、H解決しようとする力(探究力・回復力)、I将来を見通す力(キャリアデザイン)</p> <p><評価の方法> ○上記項目で作成された校内ルーブリックを年度内で2回実施し評価する ○各活動の報告書やレポートなどの成果物、また発表活動等とそれらを集積したポートフォリオにより評価する</p>									

(様式6)

令和6年度 「総合的な探究の時間」 指導計画書

学校 番号	27	学校名	坂城		名称	坂城学Ⅱ					
			高等学校	制		(課題研究 単位の内 単位)					
学年	2	学 科		普通	科	生徒数	63	人	時間数	35	時間
		コース									
目 標 (育成する資質・能力)		<p>【大目標】 自らライフキャリアをデザインし地域社会に主体的に関わり貢献できる人材の育成を目指す。</p> <p>【教科目標】 (1) 知らない言葉や事柄に対して、意味を調べ、理解することができる。また、授業で学習したことを理解し、探究の活動において、その知識・技能を活用することができる。【知識・技能】 (2) 自分の将来を想像し、それに向けて必要な行動を定め、実行できる。解決すべき課題を発見し、解決に向けて困難を乗り越えることができる。ICTを活用し、自分の意見を他者に伝えるように表現することができる。【思考力・判断力・表現力】 (3) 自己理解に基づいて、自らの行動を律することができる。その上で、自分と他者との違いを理解し、グループ活動において中心となる役割を担うことができる。【主体性・協働性・多様性】</p>									
内 容 (探究する課題について明確にすること)		<p>(1) 自己・他者理解に基づき、集団の中でどのように活動すべきか、実践、ふり返りをくり返し集団活動における協働性・主体性の向上をはかる。 (2) 企業見学(インターンシップ)や大学等見学において、自己との関りから課題を見出し、見学前の情報収集やフィールドワークから得られた情報を整理しまとめ、発表する。“仕事”に関する自己理解を深め、並行して、社会人としてのマナーやルールを学ぶ中で、卒業後社会の一員として生きていくイメージを持つ。 (3) 修学旅行先の事前学習を行なう中で、歴史や文化、自然や平和について課題を設定、情報収集し旅行後、情報整理や分析、</p>									
学期	時間	月	日	曜日	時 限 時間帯	内 容		指導方法	備 考 (教材、場所等)		
						単 元	各回の学習内容				
1	1	4	11	木	5	探究入門	坂城学オリエンテーション	講義	体育館		
	2				6		進路希望調査など	講義	各教室		
	3	4	25	木	5	課題発見	インターンシップ・オープンキャンパスについて	講義・個人追究	各教室		
	4	5	9	木	5		インターンシップ・オープンキャンパスについて	講義・個人追究	各教室		
	5				6		インターンシップ・オープンキャンパスについて	講義・個人追究	各教室		
	6	5	23	木	5	キャリア開発 (調査研究)	企業見学(就業体験)に向けての企業研究	講義・個人追究	各教室		
	7				6		企業見学(就業体験)に向けての企業研究	講義・個人追究	各教室		
	8	6	6	木	5		企業見学に向けての事前学習	講義・ワークショップ	各教室		
	9				6		企業見学に向けての事前学習	講義・ワークショップ	各教室		
	10	7	4	木	3		企業見学に向けての事前学習	講義・ワークショップ	各教室		
	11				4		企業見学に向けての事前学習	講義・ワークショップ	各教室		
	12	7	18	木	5	企業見学に向けての事前学習	個人追究	各教室			
	13				6	企業見学に向けての事前学習	個人追究	各教室			
2	14	8	29	木	5		OC・企業見学事後学習(情報整理)	個人追究	教室		
	15				6		OC・企業見学事後学習(情報整理)	個人追究	教室		
	16	9	12	木	5	修学旅行事前学習	修学旅行事前学習	講義・ワークショップ	体育館		
	17				6		修学旅行事前学習(平和学習)	個人追究・グループワーク	各教室		
	18	10	3	木	5		修学旅行事前学習(平和学習)	個人追究・グループワーク	各教室		
	19				6		修学旅行事前学習(自然・文化)	個人追究・グループワーク	教室		
	20	10	17	木	5		修学旅行事前学習(自然・文化)	個人追究・グループワーク	教室		
	21				6		修学旅行事前学習(企業調べ)	個人追究・グループワーク	教室		
	22	10	31	木	5	修学旅行事後学習	修学旅行事後学習	個人追究	教室		
	23				6		修学旅行事後学習	個人追究	教室		
	24	11	14	木	5		発表 (発表準備及び実践と振り返り)	坂城学まとめプレゼンテーション準備	個人追究	教室	
	25				6			坂城学まとめプレゼンテーション準備	個人追究	教室	
	26	12	5	木	5			学年内発表	グループワーク	教室	
27				6	学年内発表			グループワーク	教室		
28	12	19	木	5	学年内発表の振り返り			講義・グループワーク	教室		
29				6	学年内発表の振り返り	講義・グループワーク	教室				
3	30	1	9	木	5	キャリアプラン (分析及び論 理構成)	探究活動のまとめ	個人レポート	教室		
	31				6		探究活動のまとめ	個人レポート	教室		
	32	1	30	木	5		探究活動のまとめ	個人レポート	教室		
	33				6		探究活動のまとめ	個人レポート	教室		
	34	1	31	金	1		坂城学発表会	発表活動・行事運営	校外会場		
	35	2	6	木	5		探究活動のまとめ	個人レポート	教室		
	36				6	探究活動のまとめ	個人レポート	教室			
評価の観点・方法		<p><評価の観点> ○レディネス(学習姿勢):A生活態度(自律性・公共性)、B基礎学力(知識・技能) ○コミュニケーション:C自分を理解し認める力、D他者を理解し関わる力 ○コラボレーション:Eグループで協力する力、F表現・発信する力 ○キャリア:G知識を広げようとする力(学びに向かう力)、H解決しようとする力(探究力・回復力)、I将来を見通す力(キャリアデザイン)</p> <p><評価の方法> ○上記項目で作成された校内ルーブリックを年度内で2回実施し評価する ○各活動の報告書やレポートなどの成果物、また発表活動等とそれらを集積したポートフォリオにより評価する</p>									

(様式6)

令和6年度 「総合的な探究の時間」 指導計画書 (案)

学校番号	27	学校名	坂城		名称	坂城学Ⅲ					
			課程	高等学校		(課題研究		単位の内 単位)			
学年	3	学 科		普通	科	生徒数	52	人	時間数	35	時間
		コース									
目 標 (育成する資質・能力)		<p>【大目標】 自らライフキャリアをデザインし地域社会に主体的に関わり貢献できる人材の育成を目指す。</p> <p>【教科目標】 (1) 知らない言葉や事柄に対して、意味を調べ、理解することができる。また、授業で学習したことを理解し、探究の活動において、その知識・技能を活用することができる。【知識・技能】 (2) 自分の将来を想像し、それに向けて必要な行動を定め、実行できる。解決すべき課題を発見し、解決に向けて困難を乗り越えることができる。ICTを活用し、自分の意見を他者に伝えるように表現することができる。【思考力・判断力・表現力】 (3) 自己理解に基づいて、自らの行動を律することができる。その上で、自分と他者との違いを理解し、グループ活動において中心となる役割を担うことができる。【主体性・協働性・多様性】</p>									
内 容 (探究する課題について明確にすること)		<p>(1) 2年次のインターンシップ・オープンキャンパス軸とした進路学習及びそれをまとめる活動から学んだ自己理解を深めつつ、自らの進路に向けて自己課題と向き合い、それを解決する方法を探る過程を通して、進路実現に向けて知識や技能を身につけてゆく。</p> <p>(2) 進路活動において、自己理解に基づき、社会・集団の中でどのように活動すべきかを考えて行動する。進路実現に向けて丁寧な振り返りを行いながら、個別探究における主体性や集団活動における協働性・主体性を培ってゆく。</p>									
学期	時間	月	日	曜日	時 限 時間帯	内 容		指導方法	備 考 (教材、場所等)		
						単 元	各回の学習内容				
1	1	4	11	木	5	キャリアデザイン	進路講話(進路指導主任)	講義・ワークショップ	体育館		
	2				6	キャリアデザイン	自己評価・目標設定(坂高版ルーブリック)	ワークショップ	教室		
	3	4	25	木	5	キャリアデザイン	就職バーチャル・進学補習	ワークショップ	教室		
	4	5	9	木	5	基礎学力	一般常識テスト	講義	教室		
	5				6	基礎学力	一般常識テスト(自己採点等)	講義・ワークショップ	教室		
	6	5	23	木	5	キャリアデザイン	さんぼう講座(履歴書など)	ワークショップ	教室(2か所)		
	7				6	キャリアデザイン	さんぼう講座(履歴書など)	ワークショップ	教室(2か所)		
	8	6	6	木	5	思考力・表現力・判断力	面接試験練習	ワークショップ	教室		
	9				6	キャリア実践準備	応募書類講座	講義・ワークショップ	教室		
	10	7	4	木	3	キャリア実践準備	自己理解	個別探究・ワークショップ	教室		
	11				4	キャリア実践準備	自己理解	個別探究・ワークショップ	教室		
	12	7	18	木	5	キャリアデザイン	さんぼう講座(面接など)	ワークショップ	教室(2か所)		
	13				6	キャリアデザイン	さんぼう講座(面接など)	ワークショップ	教室(2か所)		
2	14	8	29	木	5	キャリア実践準備	面接実践	ワークショップ	教室		
	15				6	キャリア実践準備	面接実践	ワークショップ	教室		
	16	9	12	木	5	キャリア実践準備	自己理解	個別探究・ワークショップ	教室		
	17				6	キャリア実践準備	自己理解	個別探究・ワークショップ	教室		
	18	10	3	木	5	卒業研究・制作	フィールドワーク・研究・制作	個別探究・フィールドワーク	フィールドワーク		
	19				6	卒業研究・制作	フィールドワーク・研究・制作	個別探究・フィールドワーク	フィールドワーク		
	20	10	17	木	5	卒業研究・制作	フィールドワーク・研究・制作	個別探究・フィールドワーク	フィールドワーク		
	21				6	卒業研究・制作	フィールドワーク・研究・制作	個別探究・フィールドワーク	フィールドワーク		
	22	10	31	木	5	卒業研究・制作	まとめ:レポートにまとめよう	個別探究・グループワーク	教室		
	23				6	卒業研究・制作	まとめ:レポートにまとめよう	個別探究・グループワーク	教室		
	24	11	14	木	5	卒業研究・制作	まとめ:発信しよう	個別探究・グループワーク	教室		
	25				6	卒業研究・制作	まとめ:発信しよう	個別探究・グループワーク	教室		
	26	12	5	木	5	卒業・新生活準備	高校生活まとめ:学習の振り返り	グループワーク	教室		
	27				6	卒業・新生活準備	高校生活まとめ:学習の振り返り	グループワーク	教室		
	28	12	19	木	5	卒業・新生活準備	高校生活まとめ:学習の振り返り	グループワーク	教室		
	29				6	卒業・新生活準備	高校生活まとめ:学習の振り返り	グループワーク	教室		
	3	30	1	9	木	5	卒業・新生活準備	高校生活まとめ:探究活動の振り返り	グループワーク	教室	
31					6	卒業・新生活準備	高校生活まとめ:探究活動の振り返り	グループワーク	教室		
32		1	30	木	5	卒業・新生活準備	高校生活まとめ:探究活動の振り返り	グループワーク	教室		
33					6	卒業・新生活準備	高校生活まとめ:探究活動の振り返り	グループワーク	教室		
34		1	31	金	1	探究総括	坂城学発表会	発表活動	校外会場		
35		2	6	木	5	卒業・新生活準備	予餞会・卒業式に向けて(リモート会議の実践)	ワークショップ	自宅		
36					6	卒業・新生活準備	予餞会・卒業式に向けて(リモート会議の実践)	ワークショップ	自宅		
評価の観点・方法		<p><評価の観点> ○レディネス(学習姿勢):A生活態度(自律性・公共性)、B基礎学力(知識・技能) ○コミュニケーション:C自分を理解し認める力、D他者を理解し関わる力 ○コラボレーション:Eグループで協力する力、F表現・発信する力 ○キャリア:G知識を広げようとする力(学びに向かう力)、H解決しようとする力(探究力・回復力)、I将来を見通す力(キャリアデザイン)</p> <p><評価の方法> ○上記項目で作成された校内ルーブリックを年度内で2回実施し評価する ○各活動の報告書やレポートなどの成果物、また発表活動等とそれらを集積したポートフォリオにより評価する</p>									